

東山フェスタ 2013

平成 25 年度 実施報告

7月15日（月・祝）～9月1日（日） 全16プログラム 参加者のべ1,052人

今年度も約2ヶ月に渡り、東山青少年活動センターにて、東山フェスタを実施しました。日ごろセンターを利用するアーティストや今年は東山区を拠点に活動する団体を迎えて16のプログラムを実施しました。普段は青少年（15歳～30歳）が対象ですが、小学生や幼児、地域のみなさんにも参加していただき、参加人数は述べ1,052人となりました。

1&2 アルフェテ海の工作室

紙の積み木で海をつくろう&島をつくろう

7月15日／参加人数9名

共



幼児や小学生の親子3組と青少年1名が参加。ダンボールやボール紙のいろいろな形から海の生き物や、島をつくり、自由な発想の工作を楽しみました。「ダンボールだけでこんなに楽しい積み木ができるなんて嬉しい発見です。」

3 はじめての陶芸

7月22日／参加人数12名

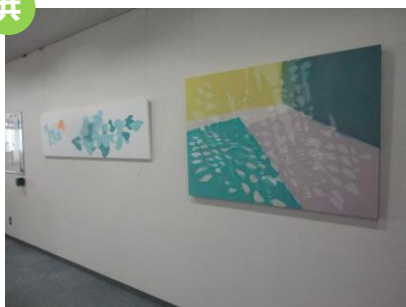


小学生から大人まで幅広い世代の参加となりました。初めて陶芸をするという人でも楽しみながら制作できる内容で、作陶を通して交流も生まれました。「ものづくりに夢中になってしまいました。土の感触も楽しかった。」

4 水たまりアルバム展

7月21日～8月18日／来場者数555名

共



美術作家・むらたちひろさんの染織4点の作品を展示しました。くっきりと染められた線と、じわりと滲む色の重なりがとても涼しげです。センターを訪れる同世代や、中高生にも作品をみてほしいと、貴重な高校時代の作品も展示されていました。

5 ZTON夏期教室 殺陣入門

7月26日／参加人数 入門編15名 実践編17名

共



実践編は定員を超える人気がありました。入門編は刀の振り方から、実践編は演劇部の中学生、大学生が多く、殺陣の芝居までを一連の流れにそって形にして効果音のをせてグループごとに発表を行いました。「プロの方のキレイな振りが見られた。」

6 ピンホールカメラメイキング

7月27日／参加人数17名

共



前半はカメラの仕組みを学んだうえで、カメラの製作。後半の撮影では子どもだけではなく、大人も夢中となる姿が見られました。

「箱とアルミ箔に穴を開けたものを貼りつけるだけで写真が撮れてすごいなと思いました。」

7 へんこな守り神をつくろう

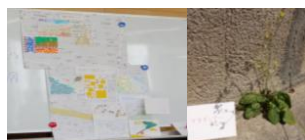
8月1日／参加人数7名



へんこ（いびつな臺）の歪みから発想してみなさん思い思いの守り神が作りだされ、自分の部屋や机や冷蔵庫など色んな場所を守る話しが生まれました。

「いろいろな壺の形があって迷ったけど、いい守り神が作れた。」

東山フェスタとは… 普段は青少年（中学生年代から30歳まで）に向けた事業を行っている東山青少年活動センターが、夏の期間限定で小学生や幼児でも、30歳以上の大人の方でも市民の方であればどなたでも参加できるプログラムを開催しています。



東山フェスタで行われた「音で観る東山」と「まちくさみつけ」では、東山地域をテーマにセンター周辺をフィールドワークするプログラムを開催しました。感想では、「普段はイヤホンをつけて好きな音ばかりを聴いているが、今回は嫌いな音やいい音も聴くことになった。でもそれが新鮮で、普段気がつかないことに気づけたように思う」など、東山の地域と出会うプログラムになりました。

8 ハンペルマンをつくろう

8月3日／参加人数 5名

共



厚紙を組み合わせてデコレーションして、ハンペルマン（＝手足の動く仕組みの人形）のペーパークラフトをつくりました。制作過程では、はぎれやビーズを使用して自分らしい作品づくりができました。

9 マジックショー

「消えた琥珀のシャンデリア」

8月3日／参加人数 41名

共



A Bubble Circus 2013 年度夏公演。関西学生マジシャン8人による競演。しかも、ストーリー仕立て。小学生から親子連れまで 41 名の方が来場し、センターのロビーに遊びに来ている小学生もお芝居を見る楽しさとマジックのドキドキ感を一緒に味わいました。

10 大地の色で染めよう 泥染め体験

8月5日／参加人数 5名

共



今年は東山の地域の土を材料にして、ふるいにかけて、色づけは泥遊びのようにすいすいと土をつけて、思い思いのバンダナをデザインして泥染めを行いました。

11 オリジナルグラス製作

サンドブラスト体験

8月11日／参加人数 30名



午前の部は定員を超える参加があり、多くの参加者がイルカなどの夏らしい絵柄をつかってサンドブラストを使いグラスに模様をつけました。「切り抜く作業が集中できてよかったです。」「形を切るところが思い通りに切れなくて、むずかしかったです。」

12 五丁目寄席

8月11日／参加人数 38名

共



生の落語を聴いたことのない、どなたでも楽しめるよう、京都役者落語の会の5人の俳優が「犬の目」「ぞろぞろ」「天狗裁き」「紙入れ」「気の長短」を演じました。

13 音で観る東山

8月17日／参加人数 8名

共



東山を3つのコースに分かれ、「音で東山を観る」という視点で町を探索するプログラム。普段は意識しない何気ない日常の音に着眼することで、馴染みのある場所でもいつもとは違った印象を感じることができたプログラムになりました。

14 道端アート まちくさみつけ

8月18日／参加人数 3名

共



道端に生えている植物をカメラで撮影し、名前をつけるプログラム。同じ植物を見ていても、感じ方や見方が違い、その違いのおもしろさを参加者とナビゲーターみんなで共有することができました

15 東山アートスペース夏イベント

夏の思い出を砂でつくろう

8月25日／参加人数 23名



自分で制作するポストカードサイズの砂絵と、グループで取り組む大きな砂絵の作品をつくりました。特にグループ制作ではどのようなものにするか意見が飛び交い、知的な障がいのあるメンバー、一般の小学生、保護者が自然に会話を楽しむ姿も見られました。

16 演劇ビギナーズユニット修了公演

8月31日・9月1日／参加人数 267名



演劇ビギナーズユニット 2013 ばんびステップ公演「贋作・桜の満開の森の下」。台風15号の接近が心配されましたが、無事開催し、入場者数はのべ 267 名となりました。

参加者の声（抜粋）

●動く仕組みのものが作れてよかったです。●今回で5回目、感想は…「めっちゃ楽しかった」です！●土の感じがとてもよかったです。●厚みを均一にすること、全体のバランスを良くしていくことが難しかったです。●プロの方のキレイな振りが見れたこと。実践編 個性あふれる人たちと一緒にたくさんの殺陣ができたので、すごく楽しかったです。●今まで通っていた道に、こんなに色々な音があふれていたことを発見できて楽しかった。



共

このマークのついているプログラムは、ナビゲーターと協会との共催で行いました。